

若手職員が新たな施策を提言！

「新しい生活様式」実現

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾 2021

リサーチ編報告会を開催します



ターゲット 17.17

令和3年11月10日

郡山市政策開発部

政策開発課

担当：佐久間 守隆

TEL：924-2021

SDGs ターゲット 17.17 「効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する」

こおりやま広域圏の若手職員を研究塾生とする、チャレンジ「新発想」研究塾 2021 の調査研究成果を報告するリサーチ編報告会を下記のとおり開催します。

1 日時 11月11日(木) 午後1時30分～午後3時30分

2 場所 市役所特別会議室（本庁舎2階）

3 手法 こおりやま広域圏 16市町村をオンラインで結び開催



市 YouTube チャンネル（郡山市役所 Koriyama City）でご覧いただけます。

URL：<https://youtu.be/9NGZ9okqfGc>

4 参集者 郡山市長（塾長）、特別職及び部局長

※こおりやま広域圏関係市町村長及び職員はオンラインでの参加。

こおりやま広域圏の若手職員 14名

※詳細は、別紙「塾生一覧」をご参照ください。

5 発表テーマ 【SDGs分野】

【ポストコロナにおける観光・交流分野】

【DX社会実装分野】

チャレンジ「新発想」研究塾の詳細は、別紙をご参照ください。

## こおりやま広域圏 チャレンジ「新発想」研究塾 2021 提案概要について

### 【提案概要】

1班	<b>【Sustainable な社会を実現—みんなで取り組む SDG s —】</b> (SDG s 分野)
概要	現状、SDG s の認知度は上昇してきているが、実際に関連する取り組みを行っている人はまだ少ない状況である。理由として考えられるのが、「SDG s を実践する場がないこと」「SDG s を自分ごと化できていないこと」の2点である。その2点を解消するために、「SDG s 体感ツアー」「SDG s を自分ごと化するアプリ」を提案する。食品ロス削減・豊かな水資源等をツアーにより体験したり、SDG s への貢献度合いをアプリにより見える化したりすることで、SDG s の理解促進・自分ごと化に繋がると考える。一人ひとりの取り組みを未来につなげ、持続可能な広域圏を目指していく。
2班	<b>【Visit こおりやま広域圏】</b> (ポストコロナにおける観光・交流分野)
概要	観光業界は、新型コロナウイルス感染症の影響により、旅行者数・旅行消費額ともに減少している。しかしながら、その中でも、旅行時に密を避ける傾向が増加していること、オンラインコンテンツの需要が拡大していることから、オンライントウオフラインの手法を用い、現状の打開策を提言する。具体的な手法としては、「観光地×コスプレ」、「マルシェ×ショールーミング」、「オンライン配信×観光」の3つの枠組みを用いる。最終的には、「認知度向上→観光人口増加→観光関連産業の収入増加→地域産業の経済活性化→新規観光プランの創出→認知度の更なる向上」といったように、循環する観光産業構造を創出することを目的とする。
3班	<b>【そうだ デジタル、しょう】</b> (DX 社会実装分野)
概要	現状、年齢が高くなるにつれモバイル端末保有率が低下している。その主な理由として、生活に必要ないと回答する人の割合が多くなっている。その現状を変えるために、「楽しさや便利さを知る機会の提供」、「コミュニケーションのきっかけ作り」として2つの解決手法を提案する。「若者と高齢者をつなげるツール」「バーチャル体験」の2つである。具体的には、オンラインで高齢者が先生となる料理教室を開催する、AR×アルバム(アルバム写真にカメラをかざすと写真が動き、孫や家族とのコミュニケーションになる)等である。提案を実行することにより、デジタル利用意欲の向上、コミュニケーション増加が期待でき、デジタルをさらに身近で生活の一部とすることができると考える。

# 「新しい生活様式」実現こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2021について

## 1 チャレンジ「新発想」研究塾の趣旨等

○住民ニーズを的確に捉え地域の魅力を高めた住民満足度の高いまちづくりを実現するため、住民生活を直視し、新しい発想のもと知恵と工夫を活かした実効性のある施策の調査研究を行うとともに、こおりやま広域圏の若手職員の政策形成能力の向上に資する研究塾です。

## 2 研究塾2021のポイント

- 「こおりやま広域連携中枢都市圏」の関係市町村の若手職員とともに実施し、圏域全体の課題解決に取り組む。  
(郡山市4名、須賀川市1名、二本松市1名、田村市3名、本宮市1名、大玉村1名、鏡石町2名、郡山国道事務所1名)
- 「新しい生活様式」に対応するため、オンラインを中心とした手法で調査研究を進める。
- 研究分野【広域連携で解決すべき課題への取り組み】
  - ①SDGs未来都市圏推進への提案
  - ②ポストコロナにおける観光・交流への提案
  - ③DX社会実装への提案

## 3 メンバーの構成

- (1)年齢 概ね35歳以下の職員(令和3年4月1日現在)
- (2)人数
  - ・班構成:1班4名程度(班長1名、副班長1名、班員2名程度)
  - ・班数:3班
  - ・研究塾の代表・副代表各1名を選任(班長・副班長以外から選出)
- (3)研究塾生選定方法
  - ・公募により研究生を募集

## 4 進め方・スケジュール

- (1)研究テーマの設定
- (2)討議(調査研究)
  - ⇒週1回程度、ウェブ会議を中心に実施。(2時間程度、原則水曜日)
- (3)報告会の実施(リサーチ編:11月、トライアル編:2月)

テーマ決定	7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月	
	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬
	全体会				中間報告会				報告会開催			全体会				報告会開催
<リサーチ編> 調査・研究										<トライアル編> 具現化に向けた施行						

## 5 研究成果

- (1)調査研究のまとめ及び報告書の提出
- (2)報告会の実施(市長、関係市町村長、関係部局長等が出席)
- (3)事業化に向けた関係部局との調整

### 【参考:これまでの成果】

- ・イクメンハンドブックの発行
- ・育パパサポート奨励事業
- ・移住・定住ポータルサイトの開設
- ・官民連携ポータルサイトの開設

こおりやま広域圏チャレンジ「新発想」研究塾2021 研究塾生一覧

①SDG s 未来都市圏推進

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな	備考
1	郡山市	環境部 原子力災害総合対策課	主査	宗形 英明	むなかた ひであき	班長
2	田村市	建設部 都市計画課	副技査	佐久間 実	さくま みのる	副班長
3	田村市	産業部 商工課	主事	深谷 智亜稀	ふかや ちあき	
4	大玉村	総務部 税務課	主査	國分 智明	こくぶん ともあき	

② ポストコロナにおける観光・交流

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな	備考
1	郡山市	市民部 国民健康保険課	主事	羽田 暢哉	はねだ まさや	
2	郡山市	都市整備部 都市政策課	主事	今泉 魁佑	いまいずみ かいすけ	班長
3	二本松市	産業部 商工課	主任主事	佐藤 威陽	さとう のりあき	副班長
4	本宮市	市民部 白沢総合支所	主事	石津 伽奈子	いしづ かなこ	副代表
5	鏡石町	上下水道課	副主査	大河原 香奈	おおかわら かな	

③ DX社会実装

No	市町村名	所属	職名	氏名	ふりがな	備考
1	郡山市	上下水道局 総務課	主事	渡辺 皓亮	わたなべ こうすけ	班長
2	須賀川市	市民福祉部 保険年金課	主事	大和田 里歩	おおわだ りほ	代表
3	田村市	保健福祉部 こども未来課	主事	武者 明日香	むしや あすか	副班長
4	鏡石町	都市建設課	主事	川田 寛貴	かわだ ひろき	
5	郡山国道事務所	管理課	技官	南雲 佳純	なぐも かすみ	